

高山市民の森の昆虫教室

文：三宅 隆， 写真：三宅飛鳥



高山市民の森 学習展示施設「森の恵み」前に集合し、高山山頂を目指す。

NPO 自然博ネットでは、事業として、静岡県からミュージアムの標本整理業務などを受託していますが、その他にも、いくつかの動植物の調査や自然観察会実施を受託して活動しています。

その中で、今回は静岡市中山間地振興課から依頼された「静岡市高山・市民の森昆虫教室」を紹介します。

この教室は、主として7月から9月頃までの間の土曜日に5回実施されます。朝10時から午後2時までの4時間、高山市民の森で、昆虫採集や観察を親子で楽しめます。またその内1回は、夜間のライトトラップがあります。1回に約30名の親子が、捕虫網を持って走り回ります。この募集は、静岡市の広報紙に載ります。

NPOでのこの活動は、今年2年目ですが、以前からこの教室を指導されてきた杉本 武先生を中心として、7名ほどで指導にあたっています。



途中の広い草原でクルマバッタなどの昆虫採集をする

朝、学習展示施設「森の恵み」に集合して受付の後、講師紹介や注意事項をしたのち、高山山頂に向けて、林道を、昆虫採集したり説明したりして登ってゆきます。途中の広い草原でクルマバッタを捕まえながら、山頂まで小一時間ほど歩きます。標高717mの山頂



山頂で昆虫の説明する

からは、安倍川や駿河湾、静岡市街地が一望できます。

山頂で、採集（オオセンチコガネやバッタ、コオロギの仲間が多い）や、ウスバキトンボのマーキング調査をしながら、昼食の後、「森の恵み」まで戻り、その日採った虫などの名前や質問を受けて終わります。

ライトトラップは、夕方5時集合し、山頂の「星の展望台」周辺で、明るいライトをつけて、そこに集まるコウチュウやガなどを観察します。ただ、子供たちは、山頂の周辺にあるクヌギなどの雑木林を歩きまわり、そこに集まるカブトムシやクワガタを採るのに夢中になります。



山頂の「星の展望台」付近でライトトラップを行う

最後に、アンケートに感想を書いてもらいますが、殆どが、楽しかった、色々と昆虫の名前が知れてよかったなど、好意的な感想でした。

高山市民の森へは、自動車でも市内から約30分位、新聞や水見色から林道を上がります。

ここでは、特別天然記念物のニホンカモシカがすぐ近くで見られます。私も行くたびに見えています。もしかしたら、日本で一番身近にみられる場所かもしれません。また、高山の池では、季節によってミズバショウやモリアオガエルの産卵、卵塊がたくさん見られます。一度訪れてみてはどうか。



「森の恵み」で、その日採った虫などの名前や質問を受ける



たびたび現れるニホンカモシカ